

商工会は、企業連携に取り組む事業者を、国や県の支援制度を活用し支援します。

1 中小企業活路開拓調査・実現化事業 (企業連携)

事業者が単独では困難な新分野進出や販路開拓、新システムの構築に向けた調査研究など、企業連携して取り組むことで活路を見出し、事業実現を支援します。

- (1) 募集期間：平成30年1月10日(水)～6月4日(月) (平成30年度予算案成立により正式決定)
- (2) 募集事業：
 - ① 中小企業組合等活路開拓事業 (新分野進出研究・展示会参加等)
 - ② 組合等情報ネットワークシステム等開発事業 (業務分析・システム構築費等)
 - ①② 補助限度額・補助率：2,000万円・6/10以内
 - ③ 連合会(全国組合)等研修事業 (活路開拓・課題解決等の研修費等)
 - ③ 補助限度額・補助率：210万円・6/10以内

○お問い合わせ先：最寄りの商工会 又は 秋田県商工会連合会 経営企画課 ☎018-863-8493
：全国中小企業団体中央会振興部 ☎03-3523-4905

2 小規模事業者持続化補助金 (単独または複数事業者との連携応募)

事業者が新たに販路拡大を目指す取組や業務効率化を目指した設備の導入、複数の事業者が協力して行う共同事業などの取組を商工会は支援します。

- (1) 募集開始：平成30年2月下旬～3月下旬 (募集締め切り日等の詳細は不明 ※1月18日現在)
- (2) 募集事業：事業者のビジネスプランを商工会等と一体となって計画作成 (販路開拓等)
 - 補助限度額・補助率：50万円・2/3 (単独事業者の応募の場合)
 - 補助限度額・補助率：500万円・2/3 (複数の事業者が連携した共同事業の場合)

○お問い合わせ先：最寄りの商工会 又は 秋田県商工会連合会 経営企画課 ☎018-863-8493

3 地域中核企業・中小企業等連携支援事業 (中小企業等と大学、研究機関連携)

地域経済の中核企業である中小企業等と大学、公的研究機関などの連携を促し、地域に波及効果をもたらす取組を重点的に支援します。

- (1) 募集開始：平成30年度予算案成立により正式募集
- (2) 募集事業：
 - ① 戦略的基盤技術高度化・連携支援事業 (ものづくり・サービスの開発)
 - 【ものづくり】補助限度額・補助率：4,500万円・2/3
 - 【サービス】補助限度額・補助率：3,000万円・1/2
 - ② 戦略分野における地域経済牽引事業支援事業 (市場獲得)
 - 補助限度額・補助率：5,000万円・1/2 (連携事業数に応じて最大1億円)
 - ③ 地域中核企業創出・支援事業 (新事業創出に向けた一貫支援)
 - 地域中核企業等の新事業に向けた体制整備、販路開拓など、事業段階に応じた支援の実行



○お問い合わせ先：最寄りの商工会 又は 秋田県商工会連合会 経営企画課 ☎018-863-8493

第23回 グルメ&ダイニングショー春2018

県内企業“初の受賞”

事業者：株式会社県北パネル (ニツ井町商工会)

株式会社ビジネスガイド社が開催する「第23回グルメ&ダイニングスタイルショー春2018」の結果が2月8日に発表され、材質にこだわった国産材を使用した「マナープレート」が新商品を対象としたキッチン&ダイニンググッズ部門において準大賞を受賞しました。



準大賞作品「マナープレート」

企業連携で収益拡大に挑戦
企業の魅力や強みを活かしましょう



石臼コーヒーマイルを作製する齊藤氏 (写真提供：湖東3町商工会)

企業連携は、自社の強みと連携する事業者の強みを活かすことができ、収益を拡大するチャンスとなります。複数の事業者が連携することで、一社では解決できない課題の解決や顧客ニーズの獲得が可能となります。企業連携に対する調査では、約8割の企業が連携には効果があり、新たな商品開発や販路拡大などにつながったと回答しています。(2012年 商工中金 経済レポート調べ)

また、企業連携により、事業者の強みをかけ合わせるだけでなく、さまざまな視点から地域文化や伝統技術を取り入れた商品開発が可能となり、地域資源を活かした新商品開発は、様々な業種を巻き込んだプラス効果をもたらすことから、地域経済全体にとっても有益な事業となることが期待できます。

商工会は、事業者の収益拡大に向けた様々な支援を実施していますので、支援制度を有効に活用し、企業連携に挑戦しましょう。

商工会と一緒に企業連携に挑戦しましょう

商工会は、事業者の企業連携を支援します。連携のポイントや商工会の支援事例を参考に挑戦しましょう。



様々な企業連携とポイント

首都圏企業との連携

県支援制度を活用し、秋田県内の老舗菓子製造業者と東京の商品販売会社が連携しました。

ポイント

県内企業3社の魅力を活かした商品開発を行い“相乗効果”を高めることができました。



他県企業とのマッチング連携

県内支援機関の紹介で他県の食品会社と連携し、秋田の特産品の販路を広げるマッチングが成立しました。

ポイント

単独では開拓できない取引先を支援機関の協力で可能となりました。

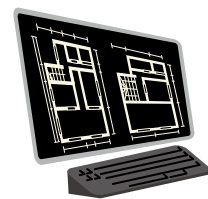


産学官連携

県内3業種の事業者と大学、研究機関が連携し、新たなシステム開発に取り組みました。

ポイント

連携することで、最先端の技術を活用した開発が可能となりました。

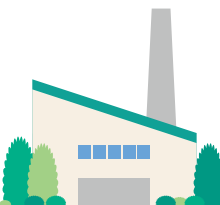


製造業と県技術センターの連携

産業技術センターの支援で製造業3社の技術を融合させた新製品開発に取り組みました。

ポイント

開発後の販路拡大資金確保のため、あきた企業応援ファンドを利用しました。



企業連携の取組事例

“美と技で秋田を魅せる” あきた舞妓オリジナル「きのこ盃」の商品開発

連携企業 (株)せん(あきた舞妓)×秋田・川連塗 寿次郎(川連漆器)
(ゆざわ小町商工会 担当:堀内 久美 経営指導員)

取組内容 と 成果

新商品の企画に当たり、お座敷や宴会の酒器として活用しながら、観光客に秋田県内の文化や祭りに関心を持っていただくとともに、川連漆器の知名度向上につなげることを目指しました。祝宴向け・縁起物として古くから作られてきた「きのこ盃」と異なり、盃の絵柄に本県を代表する行事をプラチナで描き、秋田の魅力を十分に盛り込み高級感のある仕上がりになりました。経営理念が合致した若い世代の事業者たちが連携することにより、伝統工芸品に新たな発想が生まれました。海外での商品展示が実現、地元漆器関係業者への波及効果にもつながっています。

ポイント

経営理念が合致したこととお互いの「強み」を理解し合えたことが本連携事業の最大のポイントです。秋田県小規模事業者連携支援事業補助金を活用、2社の想いを伝えながら専門家から販売戦略の指導を受け、引き続き販路拡大に取り組んでいます。



きのこ盃

企業連携の取組事例

地元酒蔵とのコラボレーション による県産食材の魅力を結集した商品の企画販売

連携企業 (株)BFダイニング(商品の企画開発・製造販売等)×
(株)齋彌酒造店(原材料及び銘酒ブランドの提供)など
(由利本荘市商工会 担当:阿部 玄 経営指導員)

取組内容 と 成果

地域に根ざした企業として、主力商品であるバウムクーヘンと組み合わせて新たな特産品をつくりたい！と考え、地元由利本荘市の酒蔵(株)齋彌酒造店様とコラボレーションしました。県産米粉と比内地鶏卵を使った生地に銘酒「雪の茅舎」大吟醸酒粕を加えることで、日本酒の香りが楽しめる他にはない商品が出来上がりました。「あきたくらす(秋田駅トピコ内)」をはじめ自社運営店舗等限られた箇所での販売展開ですが、「秋田を象徴する土産品」として徐々に浸透、県外観光客にも人気となっています。

ポイント

全国商工会連合会が主催する「ニッポン全国物産展」「むらおこし特産品コンテスト」に初出展・出品しました。自社や商品の全国的な知名度向上を図ると共に、商品に対する評価や消費者のニーズに関する調査が実施できました。



雪の茅舎バウムクーヘン(商品盛り付け時)

企業連携の取組事例

“木と鉄” の異業種の職人が強みを結集し販路拡大

連携企業 (有)川村鉄工所(鉄の加工)×佐藤木材容器(秋田杉)
(湖東3町商工会 担当:菊地 功 経営指導員)

取組内容 と 成果

佐藤木材容器が「五城目町産木材を原料とした商品開発」を目的に、町内の鉄工所やデザイナーなど、若い世代の仲間と一緒に、木と鉄をコラボレーションさせた新たな取組です。連携するきっかけは、お客様から「こんな商品を作ってほしい」というオーダーメイドの注文があったことです。その要望をいただいてからは、町の補助金を活用しながら、新たな開発に取り組んでいます。

今後、試行錯誤を繰り返しながら商品化に結び付けたいと考えています。

ポイント

新商品の開発に取り組んだことで、これまでと違った個人向け取引を視野に入れることが可能になりました。各種イベント出展によるお客様の声を活かせる商品開発、ブランディングをはじめ、ECサイトの構築等、今後とも販路拡大に取り組んでいます。



酒器(木と鉄のコラボ作品)

企業連携の取組事例

“石屋と木材加工” の技術を融合したコラボ商品

連携企業 (有)斉藤石材店(男鹿石)×佐藤木材容器(秋田杉)
(湖東3町商工会 担当:鈴木 康記 経営指導員)

取組内容 と 成果

石屋の技術と木材加工の技術を融合し、「石臼コーヒーミル」を開発しました。臼には「男鹿石」、受け皿には「秋田杉」を使用。男鹿石の熱を持ちにくい性質を生かし摩擦熱を最小限に抑えて素材の風味を損なわない工夫がされ、木の受け皿が全体に温かみを持たせています。臼はコーヒーに限らず素材に合わせた加工も可能です。

県内でも多くの方々に評価いただき、県外の商談会「グルメ&ダイニングスタイルショー」(東京ビックサイト)に出展するなど、商品を積極的にPRしています。

ポイント

業種の枠を越えた連携を目的に立ち上げた「湖東3町匠集団」に参加したことがきっかけで、それぞれの特徴を生かせる新しいターゲット設定を行った自主性が光る取組です。都市圏大型商談会出展を支援することで地域外への販路開拓につなげています。



石臼コーヒーミル(珈琲豆を挽く)